

WG 2 報告 骨子案 (目次)

1. 経済統計整備の考え方

- 一次統計との連携強化などを通じた国民経済計算の体系的整備
- 経済社会の変化に応じた統計整備
- リソースの制約、調査環境の悪化などに対応するとともに、新たな統計の作成や多様な分析を可能とするための、統計データの高度利用
- 府省横断的・統計調査横断的な、ユーザー本位の視点での基幹統計の指定や既存統計の見直し
- 統計需要調査プロジェクトの必要性
- リソース拡充の必要性

2. 国民経済計算と一次統計との連携強化等による統計の体系的整備

(1) 推計枠組みに関する諸課題

(2) 基準年次推計の諸課題

(3) 年次推計の諸課題

(4) 四半期推計の諸課題

推計方法の改善

基礎統計の整備

3. 統計データの高度利用による有用性の拡大

- 正確な母集団名簿情報の整備 - 経常的精度向上に向けての取組
- 行政情報の活用とビジネス・レジスターの構築

4. 経済社会の変化等に対応した統計の重点的な整備

(1) 重要性を増す新たな分野の統計整備

- 環境統計の段階的な整備
- 観光統計情報の総合的把握

(2) 経済社会の変化や科学技術の進展に対応した統計の整備

- 労働市場の変容を捉える統計の整備
- 情報通信分野の実態を的確に捉える統計の整備
- 知的財産活動の全容を捉える統計情報の作成
- 企業グローバル化と企業グループの実態を捉える統計

(3) サービス活動を捉える統計の整備・充実

- 企業のサービス活動（組織内活動と業務外部化）に関する統計の整備

(4) 国の基盤の実情を明らかにする統計情報の把握

- 財政統計の整備
- ストック統計の整備

5 . 既存統計の見直し

(1) ユーザーの視点に立った、分散型統計を超えた取組

- 全産業横断的な企業活動に係る統計の構築
- モノの生産活動に係る統計の共通化

(2) 基幹統計とすべき統計

(3) 今後、基幹統計とすることについて検討すべき統計